かしこく　やさしく　たくましく
国際感覚を身に付け，確かな学力と人間性を備えた児童生徒の育成

めざせ！南十字星

笑顔があふれ，しあわせを感じられる学校

学 校 便 り
令和４年１１月国際交流特集号
ヨハネスブルグ日本人学校

国際交流、国際理解教育を続けて実施

「グリーンサイド小学校(第４回)」　「JICA 青年海外協力隊（第５回)」

コロナ禍の影響で、校外学習の予定通りの実施もままならなかった昨年度でした。今年度、計画した国際交流を４回目、５回目と順調に進めることができています。

国際理解教育及び現地理解教育を通して，「グローバルな視点に立つ資質を兼ね備え、日本の自然，社会，歴史，文化を通して，日本人としてのアイデンティティーを確立し、子供たちが将来自分の目指す職業や社会で活躍できる」ことをねらいとしています。今後も、子供たちにとって、貴重な機会となるよう計画し、進めていきます。

「グリーンサイド小学校(第４回)」との国際交流

１０月２１日には、JSJ から車で１０分ほどの場所にあるグリーンサイド小学校(Greenside Primary school)と国際交流を行いました。開会式では、ほぼ全校の児童が一堂にホールに集まっている中、JSJ の代表児童が挨拶した後、全員で「さんぽ」の歌を披露しました。

その後、それぞれ同学年か学齢が近い学級に入り、一人ずつ２時間の授業を受けました。大勢を前にしたスピーチや英語の授業を一人で受けることに緊張もあるのではと心配しましたが、堂々としたスピーチ、英語での授業の参加等、動じずに子供たち全員が活躍していました。

英語や「ＥＣの時間」で「英会話力」の習熟を図っており、英語でのコミュニケーションに自信を深めることができた子供たちも多くいました。日本に対して興味をもっているグリーンサイドの子供たちも多く、スナックタイムでは、漫画やアニメなどの会話も弾んでいました。

閉会式では、「ヨハネスソーラン」を披露し、お返しに「パタパタダンス」の踊りを頂きました。

また、大変ありがたいことに、校長先生自ら、附属の幼稚園を始め全ての教室を案内していただきました。国際交流のもつ意義と同時に、子供たちにとって忘れることができない貴重な経験となっていることを実感しました。次年度もお互いに交流が続けられることを願うところです。

グリーンサイド小学校のみなさん、あたたかなおもてなしと素敵な交流をありがとう！

「JICA 青年海外協力隊（第５回）」との国際理解教育

１１月２１日に、３名の JICA 青年海外協力隊の方々を学校にお招きしました。世界には、国際貢献の面で活躍されている多くの人々がおり、JICA 青年海外協力隊の立場で、ヨハネスブルグから離れた場所で活動されている３名の方々に、JSJ までお越しいただきました。ムプマランガ州の科学センターで活躍されている井上隊員、ＰＣのＩＣＴスキル向上のためのトレーニングを指導されている桑子隊員、ロボットのプログラムミングを教えていらっしゃる山本隊員から、グループに分かれて、お仕事の内容や生活の様子などを詳しく説明していただきました。特に、小学部高学年や中学部の子供たちは、JICA の活動の目的の一部をしっかりと理解できたことから、自分の将来を見据える機会となり、キャリア教育として学ぶ絶好の機会となりました。

休み時間には、校庭で鬼ごっこによる触れ合い活動も大いに盛り上がりました。閉会式では、ヨハネスソーランの披露のあと、笑顔いっぱいの記念撮影を行いました。

大変お忙しいお仕事を調整していただき、多くの時間をかけてご来校いただいた隊員の方々、そして様々なご調整を行って頂きました JICA の白田様、このような機会を頂けましたことに心から感謝申し上げます。